

# イージーピール樹脂 モディック™

## <技術資料>

三菱ケミカル株式会社  
ポリマーコンパウンズ技術開発部  
CPDテクノロジーセンター

# イージーピール樹脂「モディック™」

作成日：2026/3

- イージーピール性樹脂 “モディック™”は食品容器の蓋材や食品包材のイージーピールシーラントとして主に使用されます。その他、電子包材や医療包材に使用されます。
- 容器の蓋材としてだけでなく、フィルム同士のイージーピールシーラントとしての使用も可能です。
- モディック™は、なめらかな剥離感ときれいな剥離面が得られます。

## <モディック™の用途例>

食品容器 蓋材



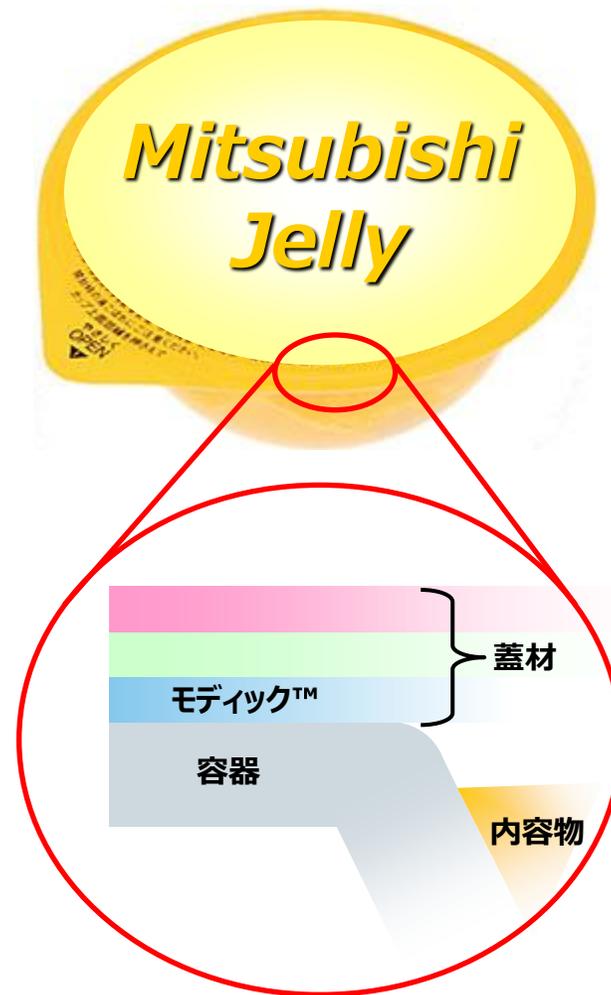
食品包装



電子包材



医療包材

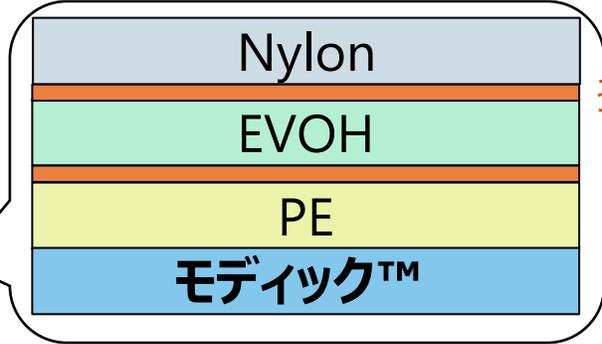


# 用途及び層構成の例

作成日：2026/3 Modic™



### ゼリーカップ蓋材

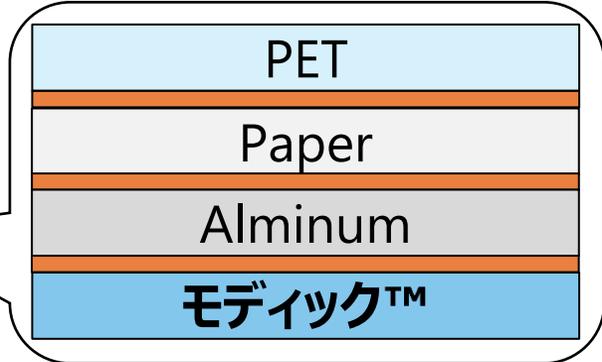


接着剤層

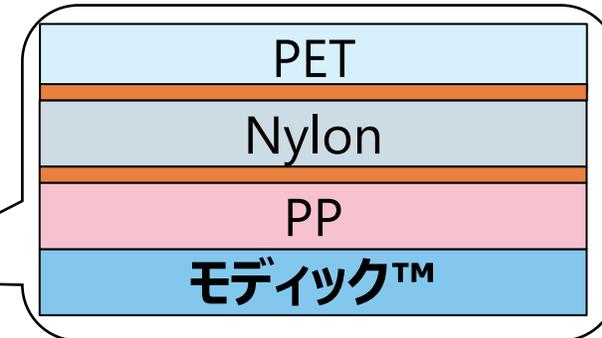
### カレールー蓋材



### インスタント麺蓋材



### レトルト食品蓋材



# イージーピール性樹脂 モディック™の種類

Modic™



作成日：2026/3

被着体	モディックのタイプ	剥離形態	特徴	用途
PP	X	<ul style="list-style-type: none"><li>●凝集剥離</li><li>●界面剥離</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●耐熱性</li><li>●透明性</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●ゼリー、プリン、米飯、カレーなど</li><li>●レトルト／ボイル用途</li></ul>
PE	Y	<ul style="list-style-type: none"><li>●凝集剥離</li><li>●界面剥離（一部）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●滑らかな剥離感</li><li>●面々シールに適用可</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●ヨーグルト、インスタント、菓子など</li><li>●PEコーティング紙容器</li><li>●食品包材、医療包材（面々シール）</li></ul>
PS、PET、PVC、PP （マルチ用）	Z	<ul style="list-style-type: none"><li>●界面剥離</li><li>●凝集剥離 （特殊グレード）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●高透明</li><li>●あらゆる被着体にシール可</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●ヨーグルト、飲料、菓子など</li><li>●電子部材（カバーテープなど）</li></ul>

# 各タイプ<sup>°</sup> 物性一覧 (X,Y)

作成日：2026/3 Modic<sup>TM</sup>



特徴			界面剥離	標準Xタイプ <sup>°</sup>	耐熱	FDA対応	標準Yタイプ <sup>°</sup>
項目	参考とする試験方法	単位	X151F	X241F	X252F	X340F	Y024
MFR (190℃, 21.2N)	JIS K7210	g/10min	2.1	2.7	5.0	5.6	4.7
実用耐熱温度	ボイル (95~100℃×3min.)		×	○	○	○	○
	レトルト (121℃×30min.)		×	×	○	×	フィルムシワなど外観△
剥離強度 (N/15mm)			弱~中	弱~中	弱~中	弱~中	弱
剥離形態			界面	凝集	凝集	凝集	凝集
推奨成形プロセス	インフレ		++	++			+
	キャスト (Tダイ)		+	+	++	++	++
	押出ラミ				+	+	
主要国の食品衛生性 (2025年4月時点**)	日本 食品衛生法PL 2025~		○	○	○	○	○
	中国GB		○	○	○	○	○
	FDA (食品区分/温度区分)		ALL/C-G	ALL/C-G	ALL/C-G	ALL/ALL	III, IV-A, V, VII-A, IX /C-H※
	EU PIM		○	○	○	○	○

\*数値は参考値であり、保証値ではありません。

\*\*食品衛生性情報は必ずしも最新版を反映しているものではなく、必ず弊社担当者に詳細をご確認ください。

○剥離強度、剥離形態は、下記条件での評価結果に基づいています。

○剥離強度 弱：~10、中：10~20、強：20~(N/15mm)

○成形方法 +：使用可能、++：想定成形方法

層構成：PET#16//rPP(X), LLDPE(Y, Z)#30/モディック<sup>TM</sup>#15 | ヒートシール圧力：0.2MPa | ヒートシール時間：1s | 被着体：hPP(X), LDPE(Y), A-PET(Z)

# 各タイプ° 物性一覧 (Z)

作成日 : 2026/3

Modic™



特徴			インフ 弱シール	インフ 強シール	ラミ 強シール	凝集剥離
項目	参考とする試験方法	単位	Z050F	Z051F	Z200F	Z400F
MFR (190℃, 21.2N)	JIS K7210	g/10min	2.6	2.4	18	2.0
実用耐熱温度	ボイル (95~100℃×3min.)		×	○	フィルムシワなど外観△	フィルムシワなど外観△
	レトルト (121℃×30min.)		×	×	×	×
剥離強度 (N/15mm)			弱	中	中~強	弱~中
剥離形態			界面	界面	界面	凝集
推奨成形プロセス	インフ		++	++		++
	キャスト (Tダイ)		+	+	+	+
	押出ラミ				++	
主要国の食品衛生性 (2025年4月時点**)	日本 食品衛生法PL 2025~		○	○	○	○
	中国GB		○	○	○	○
	FDA (食品区分/温度区分)		I, II, IV-B, VI-ABC, VII-B, VIII /C-G		I, II, IV-B, VI, VII-B, VIII /C-H	
	EU PIM		○	○	○	○

\*数値は参考値であり、保証値ではありません。

\*\*食品衛生性情報は必ずしも最新版を反映しているものではなく、必ず弊社担当者に詳細をご確認ください。

○剥離強度、剥離形態は、下記条件での評価結果に基づいています。

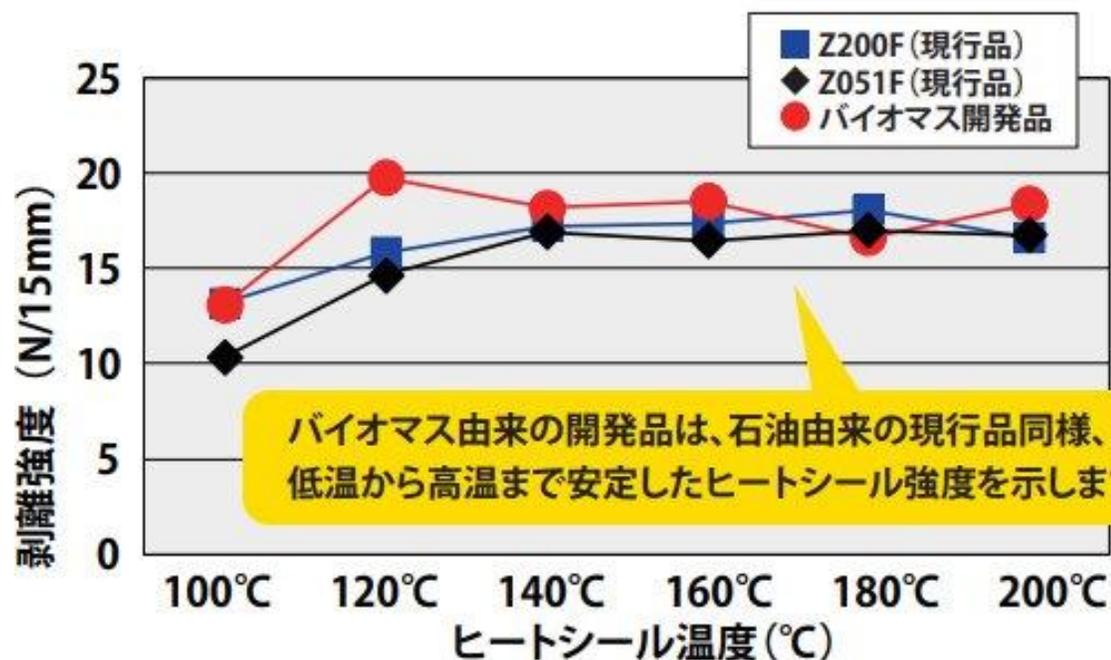
層構成: PET#16//rPP(X), LLDPE(Y, Z)#30/モディック™#15 | ヒートシール圧力: 0.2MPa | ヒートシール時間: 1s | 被着体: hPP(X), LDPE(Y), A-PET(Z)

○剥離強度 弱 : ~10、中 : 10~20、強 : 20~(N/15mm)

○成形方法 + : 使用可能、++ : 想定成形方法

作成日：2026/3

項目	参考とする試験方法	単位	Z051F	Z200F	開発品 (バイオ)
MFR (190℃, 21.2N)	JIS K7210	g/10min	2.4	18	9.5
密度	JIS K7112	g/cm <sup>3</sup>	0.93	0.92	0.92
融点 (DSCピーク温度)	MCC	℃	100	106	107
バイオマス度 (%)			0	0	40-60



※数値は参考値であり、保証値ではありません。  
○バイオプラマーク認証取得検討中

X、Yタイプのバイオマスグレードについては、別途お問い合わせください。

## ●食品接触材料規制への対応

食品接触材料に関する規制は、市場・地域ごとに要求事項や基準が異なり、かつ頻繁に改定されます。そのため、導入にあたっては最新の法規制・公的ガイドラインを確認し、社内サプライチェーンで正確に情報共有することが不可欠です。

## ●当社の対応方針

三菱ケミカルではコンパウンドメーカーとして、原料メーカーへの調査を通じた各種規制適合状況の確認を行い、その結果と最新の各国規制情報に基づいた回答やグレード提案を提供しています。ただし、規制内容や解釈は今後も変更される可能性があるため、具体的な規制確認やグレード選定は、必ず都度営業担当へお問い合わせください。

## ●回答リードタイムについて

コンパウンド製品は配合構成が複雑であるため、使用原料・配合内容の確認には一定の時間を要する場合があります。各国規制への適合状況確認にあたっては、十分なリードタイムの確保にご協力をお願いいたします。

## ●本資料の位置づけ

本資料は、公開情報および当社が入手した市場・規制情報に基づく一般的な解説であり、特定製品・用途に対する適合性や法令遵守を保証するものではありません。実際の適用に際しては、必ず最新の法令・規格・公的ガイドラインをご確認のうえ、自社責任で評価・判断をお願いいたします。本資料を基にした判断や行為の結果について、当社は責任を負いかねます。

# 各タイプ° 物性一覧

Modic™



概要		界面剥離	標準Xタイプ°	耐熱	FDAオール○	標準Yタイプ°	インフ 弱シール	インフ 強シール	ラミ 強シール
参考とする試験方法	単位	X151F	X241F	X252F	X340F	Y024	Z050F	Z051F	Z200F
JIS K7210	g/10min	2.1	2.7	5.0	5.6	4.7	2.6	2.4	18
ボイル (95~100°C×3min.)		×	○	○	○	○	×	○	フィルムシワなど外観
レトルト (121°C×30min.)		×	×	○	×	フィルムシワなど外観△	×	×	×
剥離強度 (N/15mm)		弱~中	弱~中	弱~中	弱~中	弱	弱	中	中~強
剥離形態		界面	凝集	凝集	凝集	凝集	界面	界面	界面
インフ		++	++			+	++	++	
キャスト (Tダイ)		+	+	++	++	++	+	+	+
押出ラミ				+	+				++
日本 食品衛生法PL 2025~		○	○	○	○	○	○	○	○
中国GB		○	○	○	○	○	○	○	○
FDA (食品区分/温度区分)		ALL/C-G	ALL/C-G	ALL/C-G	ALL/ALL	III, IV-A, V, VII-A, IX /C-H※	I, II, IV-B, VI-ABC, VII-B, VIII /C-G		I, II, III
EU PIM		○	○	○	○	○	○	○	○

\*数値は参考値であり、保証値ではありません。

\*\*食品衛生性情報は必ずしも最新版を反映しているものではなく、必ず弊社担当者に詳細をご確認ください。

○剥離強度、剥離形態は、下記条件での評価結果に基づいています。

層構成: PET#16//rPP(X), LLDPE(Y, Z)#30/モディック™#15 | ヒートシール圧力: 0.2MPa | ヒートシール時間: 1s | 被着体: hPP(X), LDPE(Y), A-PET(Z)

○剥離強度 弱: ~10、中: 10~20、強: 20~(N/15mm)

○成形方法 +: 使用可能、++: 想定成形方法

Xタイプ:被着体PP  
Yタイプ:被着体PE

\*数値は参考値であり、保証値ではありません。

\*\*食品衛生性情報は必ずしも最新版を反映しているものではなく、必ず弊社担当者に詳細をご確認ください

特徴			界面剥離	標準Xタイプ°	耐熱	FDA対応	標準Yタイプ°
項目	参考とする試験方法	単位	X151F	X241F	X252F	X340F	Y024
MFR (190℃, 21.2N)	JIS K7210	g/10min	2.1	2.7	5.0	5.6	4.7
実用耐熱温度	ボイル (95~100℃×3min.)		×	○	○	○	○
	レトルト (121℃×30min.)		×	×	○	×	フィルムシワなど外観△
剥離強度 (N/15mm)			弱~中	弱~中	弱~中	弱~中	弱
剥離形態			界面	凝集	凝集	凝集	凝集
推奨成形プロセス	インフレ		++	++			+
	キャスト (Tダイ)		+	+	++	++	++
	押出ラミ				+	+	
主要国の食品衛生性 (2025年4月時点**)	日本 食品衛生法PL 2025~		○	○	○	○	○
	中国GB		○	○	○	○	○
	FDA (食品区分/温度区分)		ALL/C-G	ALL/C-G	ALL/C-G	ALL/ALL	III, IV-A, V, VII-A, IX /C-H※
	EU PIM		○	○	○	○	○

○剥離強度、剥離形態は、下記条件での評価結果に基づいています。

層構成: PET#16//rPP(X), LLDPE(Y, Z)#30/モディック™#15 | ヒートシール圧力: 0.2MPa | ヒートシール時間: 1s | 被着体: hPP(X), LDPE(Y), A-PET(Z)

○剥離強度 弱: ~10、中: 10~20、強: 20~(N/15mm)

○成形方法 +: 使用可能、++: 想定成形方法

## Zタイプ：マルチ被着体用

\*数値は参考値であり、保証値ではありません。

\*\*食品衛生性情報は必ずしも最新版を反映しているものではなく、必ず弊社担当者に詳細をご確認ください

特徴			インフ 弱シール	インフ 強シール	ラミ 強シール	凝集剥離
項目	参考とする試験方法	単位	Z050F	Z051F	Z200F	Z400F
MFR (190℃, 21.2N)	JIS K7210	g/10min	2.6	2.4	18	2.0
実用耐熱温度	ボイル (95~100℃×3min.)		×	○	フィルムシワなど外観△	フィルムシワなど外観△
	レトルト (121℃×30min.)		×	×	×	×
剥離強度 (N/15mm)			弱	中	中~強	弱~中
剥離形態			界面	界面	界面	凝集
推奨成形プロセス	インフ		++	++		++
	キャスト (Tダイ)		+	+	+	+
	押出ラミ				++	
主要国の食品衛生性 (2025年4月時点**)	日本 食品衛生法PL 2025~		○	○	○	○
	中国GB		○	○	○	○
	FDA (食品区分/温度区分)		I, II, IV-B, VI-ABC, VII-B, VIII /C-G		I, II, IV-B, VI, VII-B, VIII /C-H	
	EU PIM		○	○	○	○

○剥離強度、剥離形態は、下記条件での評価結果に基づいています。

層構成：PET#16//rPP(X), LLDPE(Y, Z)#30/モディック™#15 | ヒートシール圧力：0.2MPa | ヒートシール時間：1s | 被着体：hPP(X), LDPE(Y), A-PET(Z)

○剥離強度 弱：~10、中：10~20、強：20~(N/15mm)

○成形方法 +：使用可能、++：想定成形方法